

独立行政法人 造幣局

JAPAN MINT

採用案内
令和 6 年度版





信頼と挑戦

－貨幣の信認維持と国民生活向上のために－

150年の歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな課題に挑戦します



Message

造幣局は、明治4年(1871年)に近代国家として全国統一の新たな貨幣制度を確立するため、大阪の地に開設されました。それ以来、経済活動・国民生活の基盤である貨幣を製造、供給して、日本の発展とともに歩み続け、令和3年(2021年)に創業150周年を迎えました。

造幣局の経営理念は『信頼と挑戦』です。創業期の人たちがそうしてきたように、「何ごととも恐れず挑戦し、どんな困難も乗り越えて行く」という伝統をこれからも受け継いでいく必要があります。造幣局では、新たな課題に前向きに挑戦する若手職員に対しては、その姿勢を高く評価して、失敗を恐れず積極的に挑戦できる環境を整えています。若手時代に自ら考えて試行錯誤し、先輩から叱咤激励を受けながら成し遂げた仕事は言葉にならない満足感を与えてくれます。このような満足感の積み重ねが仕事を面白くし、当事者意識を芽生えさせ、ひいては組織を発展させていきます。経験を重ねるなかで、全てを自分自身の問題と考え、全体の状況を判断しながら自分がどう動けばよいのか常に考えることのできる職員こそが、造幣局の更なる飛躍の原動力になると信じています。

造幣局は平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは行政執行法人として運営していますが、高品質で純正画一な貨幣の確実な製造等の業務を効率的・効果的かつ透明性をもって行うという、社会的使命は何ら変わるものではありません。また、貨幣の製造以外にも、公共性の高い勲章・褒章等の製造や品位証明、企業的要素の高い貨幣セット販売などの事業を行うことで、貨幣の信認維持と国民生活向上への寄与を目指しています。

これからも造幣局は社会の要請と時代にあわせて自らを変革しなければなりません。生活スタイルの変化への対応やワーク・ライフ・バランスの実現を目指した働き方改革もその一つです。造幣局の未来を描き、未来を切り拓いていくためには、皆さんの柔軟な発想と好奇心、失敗を恐れないチャレンジ精神が力となります。皆さんに大いに期待しています。

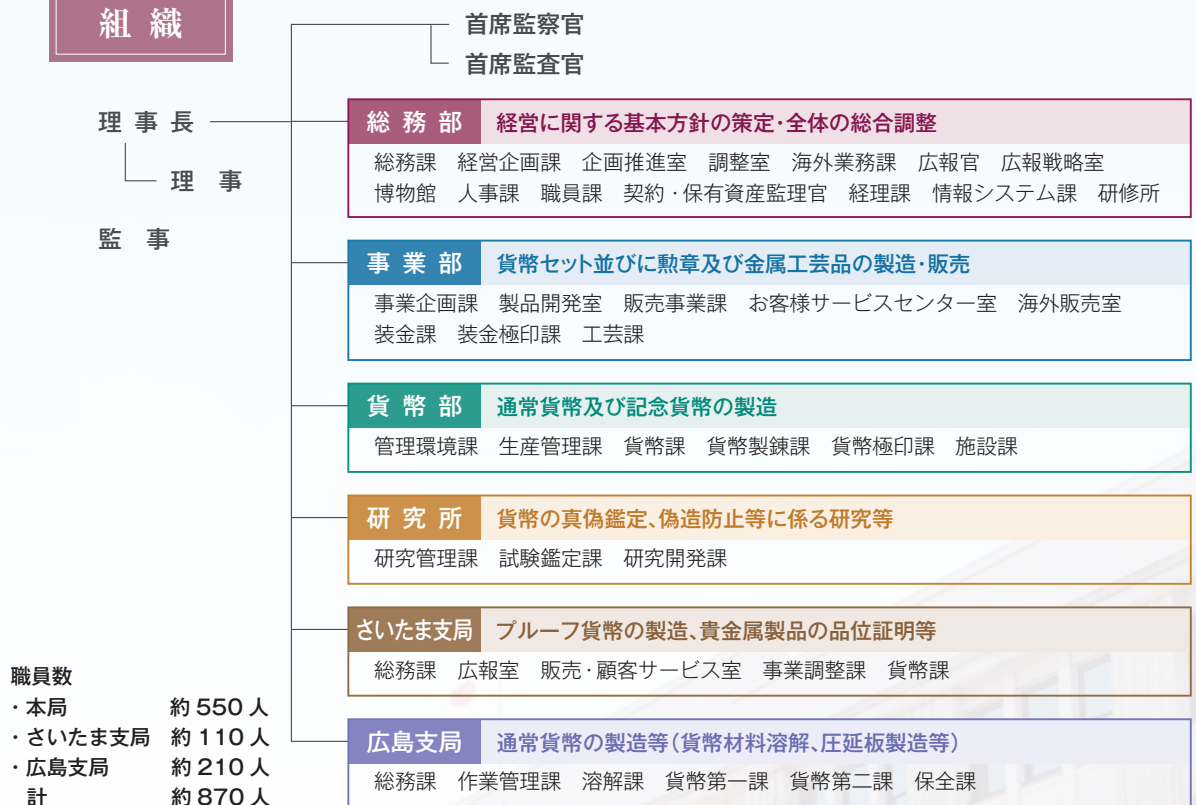
是非私達と一緒に、国民の皆さんのために貢献していこうではありませんか。

使命

高度な技術をもって次の事業を確実に実施するとともに、貨幣に対する国民の信頼を維持するために必要な情報を提供し、通貨制度の安定及び国民生活の向上に寄与する

- ✓純正画一で偽造されない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給すること
- ✓国の文化を象徴する記念貨幣及び技術やデザインを工夫した収集用貨幣セットを販売し、国内外の多様なニーズに応えること
- ✓練達した技術により、国家・社会への功績を称えるに相応しい重厚で品格のある勲章や褒章を製造するとともに、精巧で美しい金属工芸品を製造して国民に魅力的な製品を提供すること
- ✓高度で確実な技術により、公的主体として品位証明及び精製・分析のサービスを行うこと

組織



令和 6 年 1 月 1 日現在

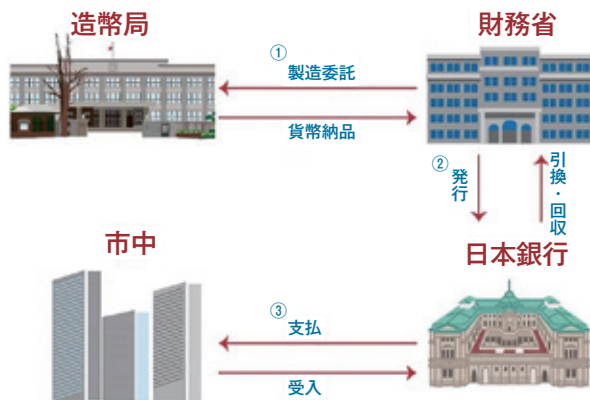
貨幣の製造

時代は変わっても、
貨幣づくりに対する姿勢は
変わりません

造幣局では、1円貨から500円貨までの6種類の
通常貨幣を製造しています。

貨幣は、材料を溶解し、圧延・圧穿・圧縁・圧印・
検査工程を経て製造されます。当局では純正画一
で偽造されない貨幣の安定供給のため、製造技術
や偽造防止技術の向上に努めています。

貨幣の製造～流通の仕組み



年度毎の貨幣の製造枚数が財務省において決定され、
造幣局は財務省から製造委託を受け、締結した契約に
基づき貨幣を製造します。

造幣局で製造された貨幣は全て財務省を通じて日本
銀行へ納められますが、この「政府から日本銀行への
貨幣の交付」をもって、貨幣は「発行」されたことにな
ります。

発行された貨幣は、日本銀行から一般の市中金融機
関へ渡り、市中金融機関から皆様のお手元に渡ること
となります。

通常貨幣の製造工程

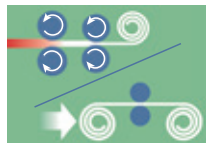


溶解工程

1. 溶解



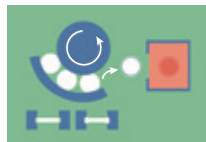
2. 圧延



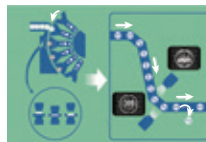
3. 圧穿



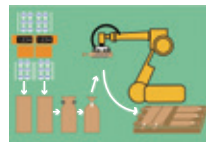
4. 圧縁



5. 圧印・検査



6. 計数・袋詰め



圧印・検査工程

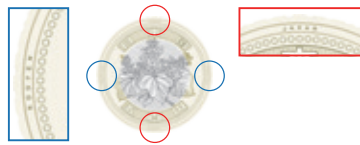


貨幣の偽造防止と安定供給

2021年11月から発行を開始した新しい500円貨幣には、最新の偽造防止技術が採用されています。

■ 偽造防止技術①(微細文字)

切削加工、微細加工の限界に挑んだ技術です。



貨幣の縁の内側にミクロの精密加工で文字が彫られています。
左右「500YEN」 上下「JAPAN」

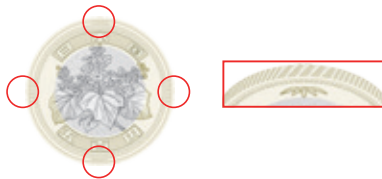
■ 偽造防止技術②(潜像)

貨幣を見る角度の違いによって文字等が見え隠れする技術です。



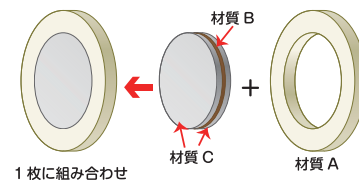
■ 偽造防止技術③(異形斜めギザ)

大量生産型貨幣では世界で初めて導入された技術です。斜めギザの一部に形の違うギザを入れることによって、視認性を向上させると同時に、偽造抵抗力を大きく高めます。



■ 偽造防止技術④(バイカラー・クラッド)

「バイカラー」技術は、リング状の金属の内側に、材質の異なる金属をコアとしてはめ合わせる技術です。「クラッド」技術は、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む技術です。この2つの技術を組み合わせて、1枚の貨幣を製造しています。



記念貨幣の製造

造幣局では、国家的な事業を記念して発行される記念貨幣を製造しています。



左から

- 東京2020オリンピック競技大会記念 一万円金貨幣
- 2025年日本国際博覧会記念 千円銀貨幣
- ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会記念 千円銀貨幣
- 天皇陛下御即位記念 五百円バイカラー・クラッド貨幣

高度な偽造防止技術の導入

記念貨幣には、現行の通常貨幣で使用している偽造防止技術に加え、さらに高度化された種々の偽造防止技術を導入しています。

■ 虹色発色技術

近年製造している記念貨幣等には、虹色発色技術が採用されているものがあります。虹色発色技術とは、貨幣表面に非常に微細な溝を作ることによって、光の回折・干渉を起こし、虹色に輝いて見えるようにする加工技術です。貨幣を見る角度が変わると、加工部が7色にキラキラと輝きながら変化するため、通常の着色などでは表現できない視覚効果を可能としています。虹色発色技術は見た目ですぐに判別しやすい偽造防止技術です。

虹色発色のイメージ



新幹線鉄道開業50周年記念
千円銀貨幣

勲章・褒章の製造

匠のこだわりが生み出す勲章 — それは世界に誇れる芸術です

造幣局は、内閣府賞勲局からの発注を受けて、勲章・褒章を製造しています。

勲章・褒章は国家または公共に対し功労のある方や、各分野において優れた行いのある方に授与されるものであり、美麗・尊厳・品格を兼ね備えていることが要求されます。このため、熟練した職員が細心の注意を払って製造しています。



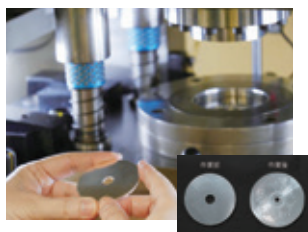
(A) 桐花大綬章 (正章)

(B) 大勲位菊花大綬章 (正章)

(C) 旭日大綬章 (正章) (D) 宝冠大綬章 (正章)

(E) 文化勲章 (F) 瑞宝大綬章 (正章) (G) 褒章

勲章の製造工程



1 勲章の大きさに打ち抜いた材料板に模様をプレスし、輪郭にそって打ち抜き、切り抜きを行います。



2 ヤスリで形を整えます。



3 七宝が入る部分に「ゆう薬」を盛り付けます。その後、電気炉に入れて「ゆう薬」を焼き付けます。



4 羽布で研磨して光沢を出し、必要な部分には金メッキをします。部品を組み立てて完成です。



Point

《機械の導入による効率化》

■ 機械の導入例

七宝自動盛り機による盛り付け作業

一部の勲章については、七宝ゆう薬の盛り付けに自動盛り機を導入し、効率的に作業を行っています。

自動研磨機による研磨作業

ゆう薬を焼き付けた後、表面を滑らかにするために作業者が砥石で研磨をしていますが、一部の勲章については自動研磨機を導入し、効率的に作業を行っています。

勲章の製造については、培われてきた伝統技術の確実な維持・継承に取り組むとともに、機械の導入などによる一層の効率化を図っています。



金属工芸品の製造

金属工芸品製造に用いる高度な技術は、
貨幣製造技術の維持・向上に寄与します

〔虹色発色技術の場合〕



皆様のニーズに — 伝統の技が応えます

造幣局では、公共性の高い金属工芸品を受注製造するほか、偽造防止技術をはじめとする貨幣製造技術の維持・向上のため、金属工芸品の製造を行っています。

■ 金属工芸品の数々



国民栄誉賞



東京オリンピック入賞メダル(金)



札幌冬季オリンピック入賞メダル(金)



長野冬季オリンピック入賞メダル(金)



七宝章牌「那智の扇祭り」



純金千支十二稜メダル(辰)



国宝章牌「東大寺」(銀)



令和5年桜の通り抜け記念メダル(銅)

貨幣セット等販売

あの日、あの時の『感動』をカタチに
— 永遠に刻む力があります

造幣局では貴金属を用いた金貨幣や銀貨幣を製造しており、これらの貨幣は、製造に要する費用が額面を超えるプレミアム貨幣として販売しています。このほか、未使用の500円から1円までの通常貨幣と年銘板（製造年を示すメダル）をケースに収めた多種類の貨幣セットを販売しています。



令和6年銘記念日貨幣セット



桜の通り抜け2023プルーフ貨幣セット

Point 魅力的な製品開発を目指して

「ONE PIECE（ワンピース）」は、シリーズ開始から瞬く間に人気を博し、世界中で愛され続けている作品で、造幣局ではこれを題材とした「ワンピース2022貨幣セット」及び「ワンピース2022プルーフ貨幣セット」を販売し、多くのお客様からご好評をいただきました。

造幣局では、キャラクター以外にも記念行事や世界遺産等様々なテーマを用いた、魅力的な製品開発に力を入れています。



（表面）

プルーフ貨幣セットに
組み込んだメダルのデザイン



（裏面）

©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



Fineness Certification of Precious Metal Wares, etc.

貴金属製品の品位証明等

公平・中立な化学の眼 — それが安心を提供します

貴金属製品の品位証明業務は、製造・販売を行っている業者からの依頼に応じて品位試験を行い、この試験に合格したものには、証明記号（マーク）を打刻してその品位を証明しています。

この品位証明記号を通称「ホールマーク」といい、国民の皆様からの信頼も厚く貴金属製品の取引の安定と消費者保護に貢献しています。

また、貨幣材料の分析及び試験で培ってきた技術を応用した各種分析及び試験を行っています。



海外業務

世界に学び学ばれ、
海外に広めたい技術と熱意があります

世界造幣局長会議をはじめとした国際会議に積極的に参加し、最新の貨幣製造・偽造防止技術等について、各国の造幣局や通貨当局等との情報交換を行っています。

世界の造幣技術の発展のために情報交換を行っています

■ 世界造幣局長会議

(MDC : Mint Directors Conference)

各国の造幣局長が出席する国際会議で、貨幣に関連する諸問題や共同解決等に関する情報交換の場となっています。具体的には、製品開発、工程改善、販売等における取り組み事例や貨幣を取り巻く各種状況等についてセッションが設けられ、各国の造幣局より取り組み成果や報告等が発表されます。



MDCオタワ2023

■ ワールド・マネーフェア（WMF）への参加

ワールド・マネーフェアは、毎年ドイツで開催される記念貨幣等についての世界最大規模のトレードショーで、造幣局も毎年参加してブースを出展するほか、さまざまな国の造幣局やメーカー、貨幣販売業者と意見交換を行っています。



貨幣販売業者との意見交換

■ 海外との情報交換

造幣局は、海外の造幣局や国立銀行等からの視察や研修を積極的に受け入れています。また、造幣局の職員が各国の造幣局を訪問して意見交換や技術交流を行い、諸外国の貨幣動向や技術について情報収集をしています。



海外での技術交流

外国貨幣の製造を通して、海外の友好国との関係を深めています

海外の友好国へ貨幣の受注活動を積極的に展開しています。

平成24年に戦後初めて一般流通貨幣であるバングラディシュ2タカ貨幣の製造を受注したほか、令和5年には日本とカンボジアの友好70周年を記念する銀貨幣を受注するなど、多くの国々の記念貨幣を製造しています。

海外から貨幣を受注し製造することは、その国との友好関係を深めることに大いに貢献するものであり、造幣局の存在意義は大変高まっています。

「日カンボジア友好70周年」記念カンボジア5,000リエル銀貨幣
カンボジア首相への贈呈（令和5年12月）



(写真提供 内閣広報室)



総務部 人事課 係員
令和5年
【一般職（行政）】

Message 学生みなさんへ

就職活動中はたくさんの選択肢があり、短期間で選ぶのはとても難しいことだと思います。その中でも説明会や工場見学などを通して、少しでも造幣局に興味を持っていただき、将来の選択肢の一つとなれば幸いです。このパンフレットをご覧になった皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

●造幣局を志望した理由

造幣局のことを全く知らない状態で説明会に参加しましたが、他の官公庁ではあまり見られない製造や販売といった業務内容に、驚きとともに興味をひかれたことが志望したきっかけでした。また、大学時代に歴史学を専攻していたこともあり、150年を超える造幣局の長い歴史の中で、一職員として貨幣製造に携わることができるということにも魅力を感じ志望しました。

●就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

公務員試験で初めて学ぶ法律科目に最初はとても苦戦しましたが、自分の生活に置き換えて考えることで身近なものとして楽しく学べたと思います。また、面接においては、常に笑顔で相手の目を見て話すことや、普段よりもゆっくりと話すことを意識して友人と面接練習を行っていました。

●現在の業務内容

現在人事課の給与担当に所属しており、支局も含めた職員全員分の給与や賞与の計算を行っています。また、通勤手当や住居手当といった諸手当の認定も毎月の業務として行っています。非常に大きな金額を扱うためプレッシャーもありますが、職員の皆さんの大切な給与を任されているという責任感や、無事支給できたときの達成感がとても大きくやりがいのある業務だと思います。

●入局前後のイメージの変化

入局前は、一般職で採用されたため現場のことを知る機会はありませんでした。入局後すぐの新規採用職員研修で工場見学や七宝の体験等を行い、事務職であっても現場を知ることができたため、製造の場としての造幣局のイメージがより明確になりました。

●職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

雑談の中で仕事の様子や悩み等を聞いてくださる方が多く、些細なことでも話しやすい環境だと思います。また、業務に関しても、上司や前任の方が進捗を見ながらとても丁寧に教えてくださり、分からないことがあったらすぐに質問できるため非常に働きやすい職場です。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

これから先、様々な業務に携わっていきそうですが、どこに行っても頼られる人材として知識や経験を深めていきたいと思っています。また、どの業務を行う上でも、慣れで仕事をこなしていくのではなく、常に初心を忘れずに丁寧に行うことを心掛けて仕事をしていきたいです。



広島支局 総務課 係員
令和5年
【一般職高卒（事務）】

Message 学生みなさんへ

就職というのは人生の中で大きな節目だと思います。学生の期間よりも社会人として働く期間の方が圧倒的に長いので、学生のうちにできることはめいっぱい楽しんでください。皆さんの進路が叶うことを心から願っています。

●造幣局を志望した理由

国家一般職試験の受験を通して初めて造幣局のことを知りました。造幣局という組織自体には馴染みがないと感じていましたが、貨幣という誰にとっても身近なものを作る機関というところにとっても興味を湧きました。公務員としては珍しく製造業であり、私が直接貨幣製造作業に携わるわけではありませんが、昔からモノづくりが好きだったので造幣局はぴったりだと思ったからです。

●就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

短い準備期間ではありましたが、面接の場数は踏んだと思います。練習と本番を何度も繰り返すうちに、面接で言葉に詰まることがほとんどなくなりました。また、面接官が聞きたくするようなインパクトの強いエピソードや特技が一つであれば、面接でのアピールポイントになるので練習にもモチベーションが出ます。

●現在の業務内容

広島支局総務課の経理管財担当に所属し、名前のとおり、固定資産の購入や除却といった財産の管理、有価物となる不用品の入札等の業務を行っています。知識ゼロからのスタートなので、今は日々業務を覚えることが仕事のような感じですが、教えてもらったことをメモに取り、それをもとに後日一人で手続きや書類作成ができたときはとても嬉しいです。

●入局前後のイメージの変化

事務職といえば、一日中パソコン作業をしているイメージが強かったのですが、造幣局は何といっても「工場」であり、特殊な機械や入札といった、普段なら関わることものないものを体験することができるので、思っていたよりも「刺激的だ!」と感じます。

●職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

業務説明会や面接の時にも感じていましたが、とても雰囲気の良い職場だと思います。どんな話でも職場の皆さんは笑顔でコミュニケーションを取っていて、口下手な私でも質問や会話がしやすく、居心地の良い環境で仕事に取り組んでいます。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

高校時代はアルバイトもしたことがなかったので、まずは働くということに慣れるのが目標です。実際、働いて給料をもらっているということ自体なかなか実感が湧きませんが、自分は社会人であると同時に公務員であることを忘れずに、早く一人前になれるよう日々仕事を頑張っていきたいと思っています。

●造幣局を志望した理由

国家公務員試験の採用予定機関一覧の中に、「造幣局」という文字を見つけて説明会に参加したのがきっかけです。公的な機関でありながらモノづくりを行っているところに他の官公庁にはない魅力を感じました。大学で専攻していた化学の知識を生かせる業務があると知ったことも志望動機の一つです。

●就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)

面接で大学での研究内容について話すときは、なるべく専門用語を使わず、簡単な言葉に置き換えるよう心掛けていました。就職活動中は対策不足を不安に思うこともありましたが、睡眠時間だけは十分に確保して体調を崩さないよう気を付けました。

●現在の業務内容

試験鑑定課では、貨幣や勲章の材料となる金属の品位(純度)の分析や、品位を証明する記号(ホールマーク)を金属工芸品に打刻する作業、工場排水に有害物質が含まれていないかどうかの検査等を行っています。私の業務はそれらの作業が円滑に進むようサポートすることです。具体的には、作業に必要な薬品や器具の購入、分析機器の修理・点検の手続きを担当しています。

●入局前後のイメージの変化

就職活動時は貨幣の偽造防止技術の開発といった造幣局の比較的新しい側面に興味を持っていましたが、入局後は歴史と伝統に浸みを感じることが増えました。古くから使われている機械や文獻の多さはもちろん、熟練度が物をいう技術が伝承され続けていることに驚かされます。

●職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)

試験鑑定課では分析作業を行う現場職員とそれをサポートする事務職員とが協力して働いています。年齢も人柄もバラバラですが、誰にでも気軽に質問できる雰囲気があり、安心して仕事に臨むことができています。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

今は担当の業務を確実にこなすことを目標にしていますが、これから経験を積む中で自分の得意分野を見つけ、他にはない視点から気付くことができる人を目指したいと思っています。また、造幣局ならではの業務を経験することも多いので、今後もそういった機会を楽しみながら仕事を続けていきたいです。



研究所 試験鑑定課 係員
令和5年
【一般職(化学)】

Message 学生のみなさんへ

入局してしばらく経ちますが、未だに財布の中の小銭が自分の職場で作られていることに不思議な感覚を覚えます。貨幣ほど誰にとっても身近なものは珍しく、その製造の一端を担う経験は他ではできないはずです。ぜひ、説明会や工場見学等に足を運んで、造幣局の魅力を知っていただきたいです。

●造幣局を志望した理由

貨幣という、誰でも保有・使用できる公益性の高い製品を製造しているところに独自の魅力を感じ、業務説明会に参加しました。理系として学んできた知識が業務に生かせるかもしれないと感じたことや、大阪にある本局はアクセスの良い場所にあったことも後押ししました。説明会で実際に職員の方からお話を聞く中で、自らに合いそうな雰囲気を感じ、造幣局を志望するに至りました。

●就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)

試験に関しては出題範囲をよく確認し、知識不足を感じた部分を重点的に補いました。面接においては、ありきたりなことを言う場合でも表現に何かひと工夫し、印象を残せないかと考えながら話すように心掛けていました。

●現在の業務内容

貨幣を製造するにあたり必要となる装置部品の耐用年数の集計や、製造途中で発生した品質異常に関するデータ測定を行っています。業務に携わるまでは品質測定に用いる機器に触れた経験はありませんでしたが、先輩に教わりながら知見を広めてきました。他には庶務的な事務作業を担ったり、会議資料の議事録作成に携わったりしながら日々学んでいます。

●入局前後のイメージの変化

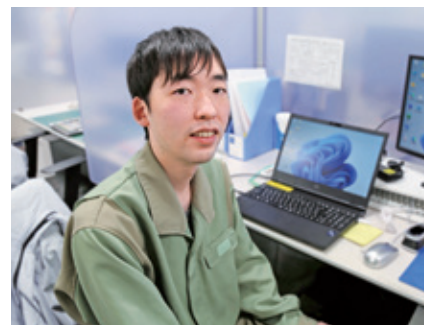
入局前は経験豊富な年齢の高い職員でなければ重要な仕事をこなすことはできないと考えていました。実際の業務を通じて、必ずしもそれが全てではなく、若手職員であっても重要な仕事を任されている方は多くいると気づき、本人の努力による側面が大きいと痛感しました。

●職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)

質問がしやすく、質問にも誠実に答えてくださる親切な方々のもとで業務に励めていると感じます。丁寧に指導をしてくださっている上司の方々の足を引っ張らないように、学ぶ意欲だけは欠かさないようにしてきました。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

現在は入局して間もないのでこなせる業務も少ないですが、いずれは一つ一つの業務の背景にある本質を理解し、必要性や環境に応じて柔軟に業務を改善できる人材に成長したいと考えています。臆することなく様々な業務に着手していきたいです。



貨幣部 生産管理課 係員
令和5年
【総合職(工学)】

Message 学生のみなさんへ

これから何が正解が分からない場面に直面する機会が増えることと思います。悩みたくなるのも当然の心理だと思いますが、あまり深く考えすぎて疲れては本末転倒ですので、時には自分の直感や決断を信じて、豪快に自らの道を突き進んでいただければと思います。

先輩からのメッセージ 入局して間もなく10年。今、感じることに！



総務部 調整室 主任
平成 29 年
【総合職（工学）】

Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公的機関の中では珍しく「モノづくり」を行っている機関です。パンフレットやインターネットだけでは知り得ない情報も数多くありますので、少しでも興味を持たれた方は、業務説明会や工場見学、職業体験プログラムに参加していただき、生の職員の声を聞いていただければと思います。

貨幣の製造を円滑に遂行するために

●現在の業務内容

造幣局は、財務省と貨幣の製造に関する事務に係る契約を締結し、貨幣の製造を行っていますが、私は、その契約に関して造幣局内外の関係者との連絡調整業務を行っています。契約を確実に履行するために、日々通貨当局及び局内の関係者に対して密に情報提供を行うとともに、必要な連絡調整を行っています。直接貨幣の製造に従事するわけではありませんが、裏方として貨幣の製造が円滑に遂行されるよう業務を行っています。

●仕事をする上で心掛けていること

仕事は様々な関係者と共に進めていくものですが、同じ仕事に取り組んでいても関係者の立場ごとに考え方は異なります。現在行っている連絡調整業務をする上では、仕事が円滑に進むよう自分の立場でのみ物事を考えるのではなく、相手方の立場に立って物事を考え、関係者全員が納得する形で仕事が進められるような調整を行うよう心掛けています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

入局後、初めて配属となった部署で記念貨幣及びプルーフ貨幣の作業計画の立案業務に携わったことが印象に残っています。当時は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣等の様々な記念貨幣の製造が予定されており、また、令和への改元に伴いプルーフ貨幣セットの製造数量を検討するなど、立案した作業計画を何度も見直す必要がありました。右も左も分からない中で、周囲の方々に助言や協力をいただき、無事に貨幣製造計画を達成できたことは非常に印象に残っています。

ある日のスケジュール

9:00	出勤・メールチェック
10:00	決裁文書の作成
12:00	昼休み
13:00	作業依頼に関する関係部署との打ち合わせ
16:00	幹部への決裁説明
17:30	退庁



総務部 総務課 主任
平成 28 年
【一般職（行政）】

Message 学生のみなさんへ

就職活動においては悩まれることが多いと思いますが、まずは積極的に業務説明会等に参加し、幅広く情報収集するのが良いのではないのでしょうか。このパンフレットを読んで造幣局に興味を持っていただけたら、ぜひ業務説明会や工場見学にお越しください。

規律の面から組織を支える

●現在の業務内容

総務課の法務担当として、局内規程の改正や文書管理及びコンプライアンス遵守への取り組みに係る業務に携わっています。局内規程の改正については、改正内容の審査や所見書の作成等を行っており、文書管理業務では、造幣局が作成・取得した法人文書を綴ったファイルについて、その分類や保存期間等を記載した管理簿を作成し外部に公表しています。また、コンプライアンス遵守への取り組みとしては、全職員対象の研修の実施や社内報への記事掲載等、定期的な啓発活動を行っています。

●仕事をする上で心掛けていること

他の職員とのコミュニケーションを大切にすることです。仕事の正確性や迅速性の重要さはさることながら、同僚や上司とまめにコミュニケーションを取ることで、ミスの防止や職場の雰囲気・人間関係を良好に保つことにつながり、長く職場で働いていく上で非常に重要だと感じています。また、プライベートでも同期と夕食に行くなど、交流を大切にしています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

人事課での採用活動や定年退職手続き等、約3年の在籍期間で様々な業務を経験したことです。中でも特に、業務説明会を通じて採用担当者という立場で学生の皆さんと触れ合えたことは新鮮だったので強く印象に残っています。また、採用活動を経て内定者の方々が4月に入局する姿を見た時には、大きな喜びとやりがいを感しました。

ある日のスケジュール

8:30	出勤
8:35	メールチェック・返信
9:00	規程改正の事前審査
12:00	昼休み
12:45	文書管理システム問い合わせ対応
14:00	文書管理システム運用保守打ち合わせ
16:00	規程改正に係る所見書の作成
17:00	退庁



広島支局 保全課 主任
平成 28 年
【一般職（電気・電子・情報）】

Message 学生みなさんへ

貨幣を取り巻く環境はこの数年で大きく変化していますが、造幣局はそのような時代の変化を受け入れつつ新たな課題に挑戦していこうとしており、いろいろなことにチャレンジできる環境が整っています。造幣局のモノづくりに興味を持たれた方、チャレンジ精神あふれる方、ぜひ一緒に働いてみませんか。

設備の安全稼働を第一に

●現在の業務内容

広島支局保全課では、工事の設計・監督、建物・機械設備の点検修理、そして電気・ガス・水道等のライフラインや樹木の維持管理に関する業務を行っています。私の担当は主に、各設備の保守点検作業を外部業者へ委託する際、仕様書の作成等発注に向けて手続きを行い、施工監督を行うことです。また、広島支局にのみ設置されている溶解・圧延設備は、貨幣製造の最初の工程で使用される重要な設備であることから、予防保全体制を導入し安定稼働に努めています。その一環として各職場と修理作業の実施状況の確認を行う会議を定期的に開催しており、会議資料の作成も行っています。

●仕事をする上で心掛けていること

業務の性質上、毎年行っている設備の点検の手続き等、前例踏襲で進めることが多いのですが、なぜこの点検を行わないといけないのか、しっかりと自分の中で整理し、落とし込んでから手続きを進めるようにしています。前回も同じように実施しているからという気構えで済ませてしまうと自分の成長にもつながりません。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

広島支局に転勤し、配属となった貨幣第一課での仕事です。早番と遅番の2交替制勤務という少し特殊な環境の中で、製造部門の仕事に初めて携わるということもあり、不安でいっぱいでした。製造ラインが一つしかない設備もあり、不具合により機械が停止してしまうと後工程にも大きな影響を与えてしまうため、安定稼働が何より求められる部署でした。必要な修理・点検の実施、部品の購入に係る事務作業が多く、苦勞することも多々ありましたが、上司や現場職員の方とコミュニケーションを取りながら、一つ一つ確実に実施していき、各工程の抱える問題を解決していった日々は、今でもとても印象に残っています。

ある日のスケジュール

8:30	出勤
9:00	設備点検の立ち会い
12:15	昼休み
13:00	仕様書の作成
14:30	製造部門との会議
17:00	退庁



研究所 研究開発課 係員
平成 29 年
【一般職（化学）】

Message 学生みなさんへ

造幣局に少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会や工場見学に参加してみてください。パンフレットの情報だけでは分からない造幣局の雰囲気を肌で感じることでできる良い機会だと思います。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

造幣局の技術力向上への貢献

●現在の業務内容

研究開発課では、造幣局の事業に関する技術の研究をしています。その中で、私はグループ貨幣用の金型の表面処理に関する調査研究等を行っています。研究を進めるにあたっては、論文を読んだり、学会へ参加したりして、現在の研究がより進展するように情報収集に努めるとともに、収集した情報を活用し、研究チームのメンバーと協力しながら、造幣局の技術力向上に貢献できるよう日々研究に励んでいます。

●仕事をする上で心掛けていること

報連相を大切にしています。こまめに上司や同僚、関係部署等とコミュニケーションを取ることで、円滑に業務を進めることができているからです。また、上司からの指示等で不明な点がある場合は必ず確認するようにし、齟齬が生まれトラブルやミスにつながらないように心掛けています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

財務省本省への出向も含めて、これまで様々な部署を経験しましたが、現在所属している研究開発課での調査研究が印象に残っています。研究を進めていくうちに、思いどおりの結果が得られないことが何度ありましたが、自分の考えだけにこだわらず、上司や同僚の意見も取り入れながら対応策を考え実行し、良い結果が得られたときは大きな達成感を感じました。改めて、固定観念にとらわれず多角的に物事を考える大切さを学びました。

ある日のスケジュール

8:00	出勤・メールチェック
8:15	課内ミーティング
9:00	研究チームで実験内容に関する打ち合わせ
9:30	実験開始
12:00	昼休み
13:00	実験結果まとめ・考察
15:00	決裁文書作成
16:30	退庁

若手職員の1日



事業部 製品開発室 係員
令和3年
【一般職(行政)】

○職務紹介

貨幣セット等の開発のため、デザイナーや外部機関との連携の下、メダルやパッケージ等の図案作成に関する事務を行っています。



総務部 情報システム課 係員
令和4年
【一般職(電気・電子・情報)】

○職務紹介

局内のパソコンやネットワーク等の管理を行うほか、各部署で使用されている業務システムの導入・運用支援を行っています。

9:00 出勤

まずメールをチェックし、デザイナーから受領した製品図案について、パッケージに記載する説明文を作成します。

10:00 製品パッケージに掲載する写真の収集

製品パッケージでは、過去に発行した貨幣や貨幣の製造工程を紹介することがあります。掲載する写真を提供してもらうため、広報や博物館の担当者に連絡します。

11:00 製品図案の確認

完成した製品図案について、実際にその図案で製造できるのかという技術的な確認や、外部機関への確認を行います。各方面への確認が完了したら、部長、理事及び理事長への説明に伺います。



12:00 昼休み

デスクでお弁当を食べています。昼食後は友人と連絡を取るなどして、午後からの仕事に向かう前に気分転換をしています。

13:00 製品の仕様確認

決定した図案をもとに、発注するケースや説明紙について、発注先の会社と相談します。色味や質感等の詳細は、デザイナーに確認した上で決定します。



15:00 製品サンプルのチェック

業者から受け取ったパッケージの印刷見本の確認を行います。デザイナーと共に色校正のほか、誤字脱字等がないかチェックする文字校正をしています。



17:30 退庁

退庁後は、友人と食事に行ったり、ドラマを見たりしてリフレッシュしています。

9:00 出勤

メールをチェックし、セキュリティに関する重要な情報がないか確認を行います。また、昨今の情報処理技術、セキュリティ事情等についても情報収集を行い、知見を高める努力をしています。



10:00 課内稟議資料の作成・処理

当課が管理するネットワークや情報処理機器に対して、他部署から受ける各種申請は適切に判断し運用を行う必要があるため、課内稟議を諮り、ソフトウェア及び機器設定の変更等の対応を行っています。



11:00 外部業者との報告会

局内システムに関する運用及び障害報告や障害対応等についての報告会を行います。障害発生原因を確認し、円滑な運用が履行されるように打ち合わせを行います。

12:00 昼休み

食堂で昼食をとった後、同期の職員との会話を楽しんで午後の業務に備えてリラックスしています。

13:00 情報処理機器の設置、設定作業

当課で管理しているパソコンの設定変更や設置依頼を他課より受け、必要な作業を行います。高度な知識を要する場合もあり、上司や先輩の指導を仰ぎながら行っています。



16:00 外部研修への参加

情報システムやセキュリティに関する技術について情報収集を行い、自分の知見を高めるために、外部講義に参加します。システムの運用保守を行うために必要な知識を吸収できる貴重な機会です。



17:30 退庁

定時退庁日には、梅田を散策したり、自宅で友人を相手にオンラインゲームをしたりしています。



さいたま支局 事業調整課 係員
令和4年
【一般職高卒(事務)】

○職務紹介

さいたま支局が主力となっ
て対応している貴金属製品の
品位証明事業に関する事務を
行っています。また、地域の
イベント等で当該事業の周知
活動も行っています。



広島支局 溶解課 係員
平成31年
【一般職(機械)】

○職務紹介

市中から回収した古くなっ
た貨幣や他の工程で発生した
屑板等を溶かし、貨幣の材料
となる鋳塊を製造しています。

8:00 出勤(朝礼、製品の検品等)

出勤後、ラジオ体操と朝礼に参加します。事業者から依頼を受け
た銀・白金製品等について、分析で合格したものには品位試験合
格の証である証明記号が打刻されるので、打刻が正しく行われ
ているかの検品を行い、依頼元へ送付する請求書を作成します。

9:00 品位証明の受け付け

新たに分析を行う製品が宅配便
または受付窓口で直接持ち込ま
れるので、依頼個数どおりに送
られているか、十分に試料が採
取できる製品かなどを確認しま
す。その後、分析・証明記号の
打刻作業を現場に依頼します。



11:30 受け付け終了

当日分の受け付けを終了しま
す。依頼元の事業者宛てに受
付通知書を送付し、受け付け
が完了した旨を伝えます。



12:00 昼休み

職場の近くに宿舎があり、昼休みは自宅に帰ります。昼食を取り、
午後の業務に備えます。

12:45 受付高の入力、事業者からの依頼の処理等

本日の受付高の入力を行い、事業者から依頼があった際は、見積
書の作成、分析結果の証明書を発行します。また、月初めは月次
処理を行うなど、日によって様々な業務を遂行します。

15:00 請求書の発行送付、 宅配物の発送

製品の分析が完了すると、請
求金額が確定するので、請求
書の送付や事業者へ証明手続
料を請求するための事務手続
きを行います。また、手数料
の入金が確認できた事業者の情報が経理課から通知されるので、
連絡が届き次第、依頼製品を梱包し発送します。



16:30 退庁

基本的にはルーティン業務のため、定時で退庁できます。徒歩圏
内に図書館があるので、資格取得の勉強をしたり、ジムに行っ
たりしています。

15:15 出勤(引き継ぎミーティング、メール確認等)

溶解課は2交替制の職場で、遅番の日は15時15分始業になります。
メール確認のほか、早番での作業の進捗やトラブル等について事
務職員、現場職員を交えて情報共有します。

16:00 点検報告会

溶解課は貨幣製造に関わる
設備を多く保有しているため、
定期的に保全課や外部業者に
点検を依頼しています。点検
結果報告を受け、修理の必要
があれば速やかに手配を行
います。



17:30 決裁文書・報告書の 作成

溶解作業で使用する物品の購
入や設備修理についての決裁
文書を作成します。また、修
理作業に立ち会った際には監
督報告書を作成し、課内で情
報共有します。



19:00 休憩時間

作業にトラブルがなければ、皆で集まって夕食を取ります。世間
話や趣味の話に花が咲くことが多く、リラックスできる時間です。

21:00 出湯^{しゅつとう}終わり立ち会い

溶けた金属を炉から鋳型に流し
終える出湯^{しゅつとう}終わり作業の立ち会
いを行います。1000℃近くの
金属を扱うため、現場には緊張
が走ります。



22:30 鋳塊検査

当日に製造した鋳塊について、
次の工程でトラブルになる要素
がないかチェックを行います。
些細なことでも影響を与える場
合があるので、1本ずつ丁寧に
確認します。



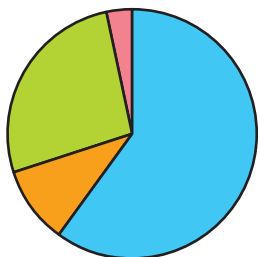
23:30 退庁

遅番の週は夜遅くの帰宅になりますが、朝をのんびりと迎えられ
るので翌日の予定を考えつつ就寝します。

若手職員アンケート

入局2年～4年の若手職員30人に聞いてみました！

Q1 どんなところに住んでいますか？



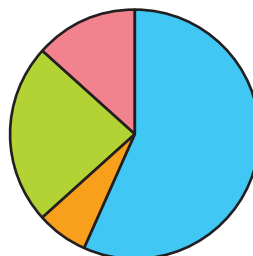
● 公務員宿舎
● 民間
● 実家
● その他

公務員宿舎に住んでいる方が多いですが、住居手当もあるので、宿舎から民間の賃貸物件に引っ越す職員も少なくありません。



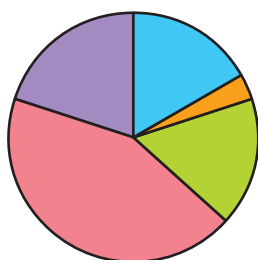
15分未満が過半数という結果に。
広島支局ではマイカー通勤も可能です！

Q2 通勤時間はどのくらいですか？



● 15分未満
● 15分以上～30分未満
● 30分以上～1時間未満
● 1時間以上～2時間未満

Q3 ランチはどうしていますか？



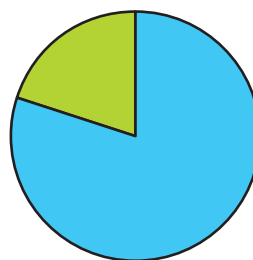
● 造幣局内の食堂や宅配弁当サービス
● 造幣局内の売店で購入
● コンビニで購入
● 弁当持参
● その他

本局と広島支局には食堂があり、さいたま支局では宅配弁当サービスを利用できます。食堂では揚げ物やハンバーグ・とんかつといったお肉系のメニューが人気です！



工場では安全のため作業服を着用しています。また、事務服・作業服は令和6年度からリニューアルされます！

Q4 職場での服装はどんな感じですか？



● 事務服や作業服
● オフィスカジュアル(私服)

Q5 サークル活動について教えてください



普段仕事で関わらない方や上の年代の方とも、サークルを通じて交流を深めています。



スポーツ系

野球、バレーボール、テニス、卓球、弓道 など

文化系

音楽、茶道、書道 など

Q6

退庁後や休日の過ごし方は？

広島支局の周りはお好み焼き屋さんがたくさんあるのでお店巡りをしています。

天満にチョコザップができたので通い始めました！脱ぼっちゃり。

休日は職場の先輩に初アフタヌーンティーに連れて行っていただきました！

退庁後、仲のいい同期と定期的にご飯会を行っています。仕事の話や趣味の話で盛り上がって、リフレッシュになります。

定時退庁後に野球観戦によく行きます！本局は甲子園も京セラドームも近いので有休を使わずに行けますよ！

家でドラマを見たり、音楽を聴くことでリフレッシュしています。

退庁後は同期と職場近くのピラティスに週1で通っています。

有休と土日をつなげて3泊4日で韓国旅行に行きました！

友人と自家用車で遠いどこかへ旅立ちます。

ラーメン食べ歩き。

休日は、推しのライブに行っています。さいたま支局はさいたまスーパーアリーナが近くで最高です！

Q7

最後に、造幣局のイチオシポイントを教えてください！

桜の通り抜けです。大阪で一二を争うくらいの人気スポットです。

大阪、さいたま、広島と比較的都市部で働けるところ。

公務員でありながら貨幣・勲章といった金属製品のモノづくりに深く関わることができ、特に理系分野が好きなら業務内容がとても興味深いこと。

場所によっては大阪城を見ながら仕事ができること。

貨幣や勲章など、ここで見られない製品の製造に携われること。

老若男女問わず、誰もが使用する「貨幣」を製造しているところ。

貨幣という経済の根本を支える仕事ができること。

言わずもがな、有名な「桜の通り抜け」は大阪のみならず広島・さいたまにも同じような催しがあり、本局に負けず劣らず壮観であります。

庁舎と工場が同じ敷地にあるので、事務職でも製造現場を知ることができる機会がたくさんあるところです。

素敵な先輩がたくさんいます！

さいたま支局の近くには大きなショッピングモールがあり、ちょっと歩けば大宮駅にも行けるので、徒歩圏内で何でもできるところ。

広島支局は、造幣局で唯一鑄塊（金属の塊）から貨幣になるまでの全工程が揃ってます！

造幣局で一緒に働きませんか？



仕事と子育ての両立

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す職場で
仕事と家庭の両立支援制度を利用している先輩からのメッセージ



研究所 研究管理課 専門官
平成 18 年【総合職（法律）】

● 仕事と家庭の両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

家と職場と保育園が近いことが何よりの時短となっています。それでも時間に追われがちになるので、職場でも家庭でも効率を重視しつつ、子どもの急な発熱等に対応できるよう周囲とのコミュニケーションを怠らないことが大切だと思います。

Message 学生のみなさんへ

家庭を持たれている方もそうでない方も、ワーク・ライフ・バランスを大切にされている職員が多いため、休暇も取得しやすく、定時退庁後の時間も有効に使える職場環境だと思います。皆さんと共に働けることを楽しみにしています。

● 仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

仕事の復帰にあたり、周囲には女性だけではなく男性も家庭に貢献されている方が多いので、休暇等への理解も得やすく、特段不安はありませんでした。しかし、休暇中のブランクが心配だったので、テレワーク環境に対応したノートパソコンを貸与していただきました。それにより、局内掲示板やメール等を閲覧して局内における出来事を随時把握することができ、復職もスムーズに行えました。

● 利用した支援制度は？（産前産後の付き添い、育児休業等）

「産前・産後休暇」及び「育児休業」を利用しました。

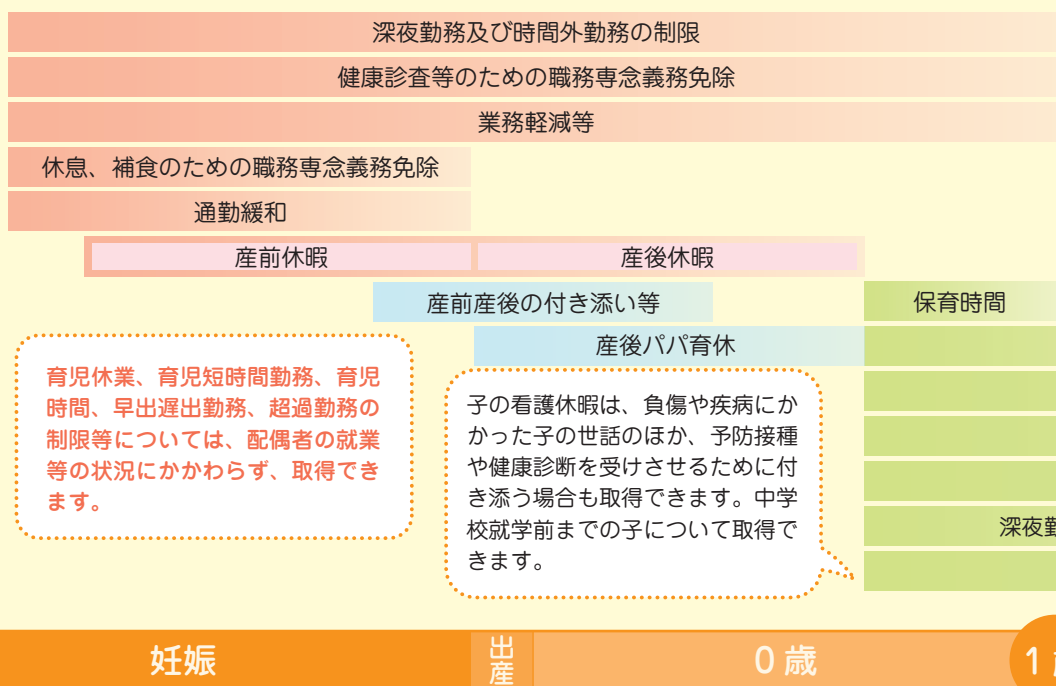
● 支援制度を利用してよかったと思う点は何ですか？

成長が著しい赤ちゃんとの密な時間を過ごすことができ、育児に専念できました。また、上の娘たちとも向き合う時間が増え、日々の出来事等についてゆっくり話をする時間が持てました。



仕事と育児の両立のための行動計画メニュー（女性職員の場合）

Work-Life Balance



●育児だけではなく、介護についても同様に休暇等制度が利用できます。

●仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

休業から復職する際、スムーズに業務に戻るかが不安でした。しかし、職場の方々が協力してくださり、休業中に私の担当業務を対応していただいた上で、復職時に休業期間中の出来事や業務の現状を丁寧に引き継いでくださったおかげで、無事に復帰できました。

●利用した支援制度は？

(産前産後の付き添い、育児休業等)

第1子と第2子誕生の時は「出産時付き添い休暇」と「男性育児休業」を、第3子と第4子の誕生の時は加えて約1か月間の「男性育児休業」も利用しました。また、子どもが体調を崩したときは「子の看護休暇」も利用させていただき、とても助かっています。



事業部 事業企画課 主事
平成25年【総合職(工学)】

●仕事と家庭の両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

子どもの看護のため急に休まざるを得ないときがあります。そのため、業務を1人で抱え込まず周囲へ情報共有する、業務はため込まず優先順位を決めて締め切りが近いものから対処する、ちゃんと感謝を伝えるなどといった社会人として基本のことばかりではありますが、基本ほど確実に実行することが大切だと心掛けています。

●支援制度を利用してよかったと思う点は何ですか？

1か月間の「男性育児休業」では、新生児期という二度とない貴重な時間を一緒に過ごせたことが、かけがえのない思い出になりました。また、上の子たちともこれまで以上にじっくり時間をかけて触れ合えたので家族の絆が深まったと思います。



Message 学生のみなさんへ

4人の子育ては大変ですが、自分にとって癒やしてあり仕事へのモチベーションにもつながっています。モチベーションづくりの方法は家庭だったり趣味だったり十人十色だと思います。試行錯誤しながら自分に合う方法を見つけて、これから始まる長い社会人生活を精力的に頑張っていってほしいです。

男性職員も、産前産後時の休暇や育児のための各種休暇等制度が利用できます。

育児休業取得率
男性 60%
女性 100%
(令和4年度実績)



長さは
取得可能期間
を示します。

母性保護のための制度(女性)

出産時のための制度(女性)

出産時のための制度(男性)

育児のための制度(女性・男性)

早出遅出勤務は、小学校入学後も放課後児童クラブ等に通う子を送り、または迎えに行く場合にも利用できます。

育児休業

育児短時間勤務

育児時間

早出遅出勤務

超過勤務の制限及び超過勤務の免除

深夜勤務及び超過勤務の制限

子の看護休暇

2歳

3歳

4歳

5歳

6歳

採用関係情報

給与

国の機関に勤務する一般職国家公務員は、一般職の職員の給与に関する法律の適用を受け、給与が支給されます。

一方、造幣局の職員は国家公務員ですが、当該法律の適用対象外であり、内規として給与規程を定め、給与が支給されます。なお、給与制度に関しては、概ね国と同様の給与体系となっています。

初任給	総合職(院卒者)	246,170円
	総合職(大卒程度)	220,770円
	一般職(大卒程度)	215,820円
	一般職(高卒者)	183,260円

(大阪市内で勤務する場合の地域手当を含む、令和5年度実績)

その他にも扶養手当・通勤手当等が支給されます。また、年2回賞与(期末手当、奨励手当)が支給されます。

福利厚生

◆健康管理

健康診断を定期的に実施し、また、そのフォローアップも行っています。

◆共済制度

造幣局採用と同時に財務省共済組合の組合員となります。共済組合員は、病気、負傷、出産等に関して給付を行う短期給付や退職後に年金として支給される長期給付を受けることができます。また、臨時に必要とする支出に対する生活資金等の貸付制度もあります。

サークル活動

健康と明朗さを保ち、職員相互の親睦を図るため各種スポーツや文化・趣味をテーマに、様々なサークルが活動しています。各種団体が主催する大会にも参加して優秀な成績を収めています。

◆スポーツ

野球、バレーボール、テニス、卓球、弓道など

◆文化・趣味

音楽、茶道、書道など

勤務時間、休日休暇

◆勤務時間

製造部門の部署に配属される職員は午前8時から午後4時30分、庁舎・管理部門の部署に配属される職員は午前9時から午後5時30分までの勤務となります(いずれも7時間45分勤務(休憩時間は45分))。なお、庁舎・管理部門のうち、一部の部署については時差勤務(午前7時～午前11時の間に出勤)が可能です。

◆在宅勤務

在宅勤務が可能な部署では、育児・介護の必要がある職員や、病気や怪我のために通勤が困難な場合など、所定の要件に該当すれば、専用パソコンを借り受け、在宅勤務を行うことができます。

◆休日

土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始が休日となります。

◆休暇

有給休暇としては、年に20日(4月1日採用の場合は15日、残日数は20日を限度として繰越可)の年次休暇、病気休暇、特別休暇(夏季、結婚、出産、子の看護、ボランティア、忌引など)が付与されます。

・年次有給休暇の取得率 88.5%(令和5年実績)

配属

造幣局採用後、まず本局の研修所において約2カ月間、造幣局職員としての必要な基礎知識を身につけるための新規採用職員研修を受け、その後、各職場に配属となります。

なお、配属先においては、所属の先輩職員が専属の指導員として付き添いますので、安心して業務を行うことができます。

毎年職員から、勤務地、部署などの希望を申告する機会があります。職員の配属に際しては、申告のあった希望や、能力、適性、業務上の要請などを総合的に勘案して行います。

研修

造幣局では、公務員として求められる高い能力や資質に加え、全体の奉仕者としての使命感や倫理観を持った人材の育成が極めて重要であるとの認識の下で、職場や職員のニーズに合った様々な研修を実施しています。また、専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、通信教育による学習活動の支援も行っています。

新規採用職員研修

造幣局の業務についての基本的なことや、仕事を行う上で求められる行動と責任について学びます。また、研修期間中、実際に製造現場における業務を知っていただくことを目的として、本・支局の現場研修を実施しています。

採用後約2カ月間の新規採用職員研修を修了した後、各職場に配属となります。

主なカリキュラム

- 業務についての基礎知識
- 社会人の基本として必要なビジネスマナー
- 現場研修（貨幣製造工程、勲章製造工程での現場研修等）

監督者研修

造幣局の求める各階層の役割を十分に自覚し、強い責任感を持って仕事に取り組む人材を育成することを目的として、係長、課長補佐、課長等の昇任後に、各役職に求められる能力を養成する研修を実施しています。

主なカリキュラム

- 仕事と人のマネジメント（係長研修）
- 管理・監督者のあり方、部下指導（課長補佐研修）
- 課題設定力・問題解決力（課長研修）
- コンプライアンスに関する研修（全階層）

職務能力向上研修

人事労務管理、財務・経理、販売管理及び技術管理等の業務に従事する職員を対象に、職務の専門性を一層高め、能力向上を図ることを目的として実施しています。

主な研修・試験

- ビジネス・キャリア検定試験（労務管理、生産管理等）
- 販売士
- 原価計算、財務諸表分析、簿記
- 貿易実務（英文契約）
- 知的財産権

一般総合研修

一定の勤続年数（3～5年）に達した職員を対象に、約1カ月間職務遂行上求められる基礎的な知識を再確認した上、さらに専門的な知識の習得に努めることを目的として実施しています。

主なカリキュラム

- プレゼンテーション
- アカウンティング・原価計算
- 生産管理・品質管理
- マーケティング

国外派遣研修

海外業務に関連する職員を育成するため、選考された職員の語学力の向上を図るとともに、一定の語学レベルに達した時点で国外の大学に派遣しています。

過去の国外派遣研修においては、アメリカの大学において経営に関する科目（管理会計論、組織論、ファイナンス、マーケティング等）を学んで、グループワークやプレゼンテーションを中心とした課題に取り組み、研修修了後は海外業務に関する部署において活躍している職員もいます。

自己啓発支援

専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、幅広い分野について予め選定した通信教育による学習活動を支援しています。

主な通信教育講座

- 語学（TOEICテスト実践トレーニング、実用英語講座）
- 資格取得（日商簿記検定、社会保険労務士講座）
- ビジネススキル（問題発見・解決、パソコン等）
- 生産・技術（品質管理、工程管理）

Q&A

採用、就業条件について気になることにお答えします。

Q1

職員の身分は国家公務員ですか。

A

職員の身分は国家公務員です。
造幣局は独立行政法人の中でも行政執行法人に位置付けられています。独立行政法人通則法により、行政執行法人の職員の身分は国家公務員とする旨が定められています。

Q2

国の行政機関における造幣局の位置付けはどのようなものですか。また、行政執行法人とは、何ですか。

A

造幣局は財務省の特別の機関でしたが、平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは、その中でも行政執行法人と位置付けられました。
行政執行法人とは、公共上の事務等のうち、国の行政事務と密接に関連する業務を、国の相当な関与の下に確実にを行うことを目的とした法人です。

Q3

学生時代の専攻が採用にあたって有利・不利になることはありますか。

A

学生時代の専攻が採用に有利・不利になることはありません。造幣局では、人物・能力本位で採用しており、特定の分野に偏ることなく、多様な人材を採用しています。仕事をする上で必要な知識は、日々の業務を通じて習得できるほか、各種研修の機会も準備されているので心配はいりません。

Q4

採用されやすい試験区分はありますか。

A

造幣局は「モノづくり」を中心としているため、大きく区分して、採用数は技術系の試験区分からのほうが行政系よりも多くなっているのは確かですが、試験区分によって採用されやすい、または採用されにくいといったことはありません。入局後も、試験区分によってキャリアパスが限定されることはありません。技術系で採用されても、事務系の業務に携わっている職員も多くいます。

Q5

採用試験前に取得しておくとな利な資格はありますか。

A

特に有利な資格はありません。語学力や簿記等の資格があれば、業務の理解や習熟に役立ちますが、配属後には知識習得のための各種研修の機会が用意されています。ここで知識を習得し、その力を発揮していただければ十分です。

Q6

技術系で採用になると、工場の現場で製造作業も経験できるのですか。

A

配属部署によっては、作業の管理、資材等の調達、設備点検、技術指導などの業務を通して、工場等での製造作業に携わる場合がありますが、直接、製造作業に従事することはありません。

Q7

行政系と技術系が一緒に仕事をすることがありますか。

A

貨幣等の製造は、行政系は予算や人員等の組織運営の観点から、技術系は生産管理や製造工程の観点から問題がないことを確認した上で実施していくため、関係部署の連携が不可欠です。何れの職種も協力して業務を行う必要があります。

Q8

転勤や造幣局以外での勤務はあるのでしょうか。

A

本局（大阪）以外に、さいたま支局、広島支局で勤務する場合があります。また、財務省本省に出向し、勤務する場合があります。
造幣局では、若手職員の育成方針を定めており、係員の間は、一度は転勤や出向の機会を与えることとしています。

Q9

A

女性にとって働きやすい職場なのでしょうか。

造幣局では、超過勤務の縮減や休暇の取得促進など、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進し、働きやすい職場環境の整備に努めています。出産後に「育児休業」を取得後復職し、仕事と育児を両立して活躍している女性職員もたくさんいます。

また、女性職員のさらなる登用の拡大に向けて、女性が活躍できる職域の拡大や研修等を通じたキャリア形成支援にも取り組んでいます。

Q10

A

残業はどの程度ありますか。また、休暇の取得状況はどうですか。

業務量や業務内容は部署や担当、また時期等によって多様ですので、一概にどの程度ありますと示すことはできませんが、例えば、作業部門では作業計画に基づいた週4日・各2時間の計画残業が実施される場合があり、関連部門においてもそれに対応した勤務体制となる場合があります。

有給休暇は1年間に20日付与され、職員が1年間に16日以上取得できるよう休暇の取得を推進しています。

Q11

A

採用状況はどのようになっていますか。

(単位:人)

区分	採用年毎	令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合職	行政、法律、経済			0	1		1			0			0
	工学	1		1	1		1	1		1	1	1	2
一般職 (大卒程度)	行政	1	2	3		3	3	1	2	3	1	1	2
	デジタル・電気・電子	1		1	2		2	1		1	1		1
	機械			0			0	2		2	1		1
	化学		1	1	1	1	2		2	2	1		1
一般職 (高卒者)	事務		1	1	2	4	6	1		1		2	2
	技術	1	2	3			0			0	3		3
合計	総合職	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	1	2
	一般職(大卒程度)	2	3	5	3	4	7	4	4	8	4	1	5
	一般職(高卒者)	1	3	4	2	4	6	1	0	1	3	2	5

採用担当者からのメッセージ

造幣局は、通貨制度を支える貨幣を安定的に製造することにより、国の社会的基盤を支える役目を担っています。一口に貨幣の製造といっても、この採用案内で紹介するように関連する業務内容は多岐にわたり、単純ではありません。製造に関わる技術的な業務を専門にする部署もあれば、いわゆる行政的な業務を専門にする部署もあります。造幣局では、採用区分や試験区分等に関わらず、多様な業務に対応するための人事が行われており、専門性を生かすことも、様々な分野にチャレンジすることもできます。

就職活動中は、どのような業務を志望するか迷うこともあると思います。どんな業務であれ前向きに取り組める方であれば、様々な業務を経験できる造幣局は魅力的な職場だと思いますので、ぜひ一度お越しいただき、雰囲気を感じてください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

本局総務部 人事課



JAPAN MINT

ACCESS

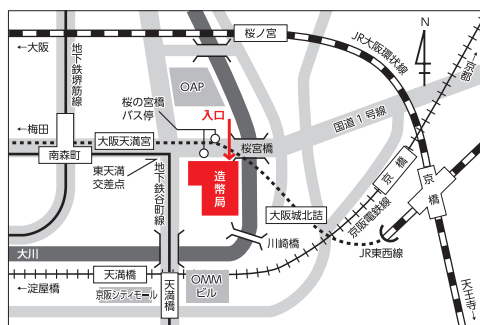


【本局】

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79

TEL 06-6351-5158(直通)

総務部人事課(人事担当)



【さいたま支局】

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-190-22

TEL 048-645-5893(直通)

総務課(人事担当)



【広島支局】

〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央6-3-1

TEL 082-922-2093(直通)

総務課(人事担当)



職員採用情報（造幣局ホームページ）



∥ 各種 SNS にて新製品や桜の通り抜け情報を発信中！ ∥



Facebook



YouTube
(@japanmint)



Instagram
(@japanmint_official)



X
(@JapanMint_IAA)